



AU通信

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

新年の挨拶

芦屋ユネスコ協会 会長 広瀬忠子

芦屋ユネスコ協会のみなさま、
新年あけましておめでとうございます。

今年は申年なので、戴いた年賀状に三猿の描かれたものが何枚かありました。「奥山に猿が三匹集まりて、見ざる聞かざる物を言わざる」と狂言「鉢叩」のなかの言葉と聞いていますが、私は今の時代にはこのような消極的な考え方は切り替えて、何事にも積極的に前へ進めていくことを考えて行きたいと思っています。

昨年は、「世界平和と世界遺産のパネル展」の開催、8月15日の「平和の鐘を鳴らそう運動」などの世界平和活動をはじめ、多くのご協力を戴きました書き損じはがきにより世界寺子屋運動(識字教育運動)にも貢献できましたことは皆様のユネスコ精神の賜物と感謝申し上げる次第でございます。

恒例となりました年末の「講演会&親睦会」には、新しくノルウェー大使から大阪担当特命全権大使に着任された河合正男氏よりノルウェーの現状について興味深いお話を伺い、ユネスコならではの感激致しました。後の親睦会では弓場徹会員のすばらしいテナーによってクリスマス気分が大いに盛り上がり、最後は一同手を繋いで「蛍の光」を歌い、芦屋ユネスコ協会の2003年を和やかに締めくくる事が出来ました。

ゆっくり時間が流れた時代とスピーディーな時代とは、暮らし方・考え方も変わって参りました。2004年は世界平和のための仲間づくりと共に科学・教育・文化そしてコミュニケーションの理念に基づき、時代に相応しい、有効なユネスコ活動を活発に進めて参る所存でございます。

皆様に一層のご支援ご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



芦屋ユネスコ協会講演会&親睦会

昨年末、2003年12月16日(火)午後6時から、ホテル竹園において、出席者55名にて2003年度、年末「講演会&親睦会」が広瀬会長の挨拶により開会されました。

講演会は外務省大阪特命全権大使の河合正男氏により「駐ノルウェー大使としての務めを終えて」というテーマで、前ノルウェー大使ならではの、ノルウェーの現況のお話を伺いました。時間の制限があり、改めてお聞きしたいと思える充実した内容でした。

親睦会は、会員の弓場徹先生のクリスマスソングをソロで聞かせていただいた後、先生の発声のレクチャーに合わせ、全員が元気に歌を歌いました。その後、山中市長による乾杯に始まったディナータイムは和やかな会話と共に柔らかい神戸牛などの美味しいお食事とワインに舌鼓を打ちました。ティータイムから始まった恒例のビンゴゲームでは、池西理事のリードで盛り上がり、会員提供の賞品を勝ち取り、多いに楽しみました。

最後には、キャンドルに火をつけ全員で輪になって蛍の光を歌い、森副会長による閉会の挨拶で、2003年末の行事を無事終えました。

委員会報告とお知らせ

事業委員会

◇書き損じ葉書の回収活動を、年間を通して行っています。

年賀状の書き損じ葉書など家の中に残っている古い葉書(未使用)がありましたら、是非、芦屋ユネスコ協会事務局(芦屋市役所北館4階、教育委員会社会教育部生涯学習課内)にお届けください。書き損じ葉書はお金に換えられ、世界寺子屋運動(非識字者のための学校=寺子屋建設)の資金となります。どうぞ、ご協力をお願いいたします。身近な協会役員にお手渡しいただいても結構です。

レディスセミナー

<レディス・セミナーハウス例会開催報告>

◇2004年1月20日「藍染の文様の由来」(藍染めの貴重な古布を沢山お持ちいただきました)

笹倉玄照(ささくらげんしょう)氏 — 藍染古布の蒐集家 —

<レディス・セミナーハウス例会開催予告>

◇2004年2月17日「あなたの知らない食べ物の話し — 長寿食のコツ —」

程一彦(ていかずひこ)氏 — 台湾料理龍潭(リュートン)2代目オーナーシェフ —

◇2004年3月16日「異文化、私の旅」

ラッセル、ニコラス キャンディツシュ氏 — 英会話教室経営、芦屋在住 —

◇2004年4月20日「15周年記念特別例会」

花外楼本店(大阪)での特別例会。講師未定。

学生クラブ

<協賛事業報告>

◇「ベタンク&バーベキュー」2002年11月29日(土)9:30~ 芦屋市立潮見小学校校庭
海技大学の留学生とのベタンクを通じた交流と、バーベキューを楽しみました。

<共催事業報告>

◇「世界遺産セミナー」

毎回、芦屋国際交流協会にて、18:30~20:30開催。参加費:500円

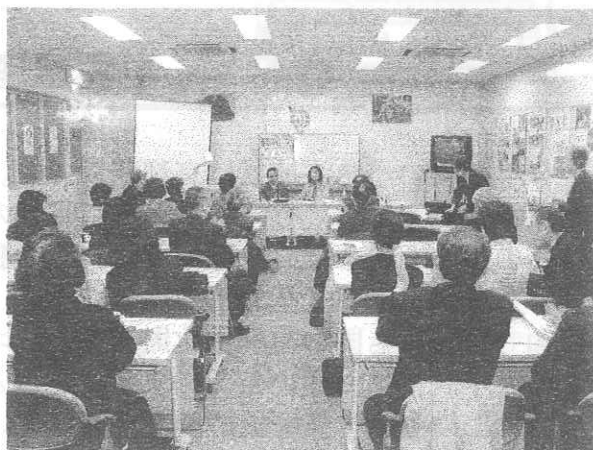
11月19日(水)「バングラディッシュ(Bangladesh)の世界遺産と生活様式」

11月26日(水)「ミャンマー(Myanmar)の自然や文化と生活様式」

☆次頁に世界遺産セミナーの記事掲載

<世界遺産セミナー>

学生クラブは、国際交流と相互理解を目的に芦屋国際交流協会（ACA）と共催で、これまでに14ヵ国（フィリピン、セيشェル、マラウイ、パナマ、メキシコ、インドネシア、モロッコ、スリ・ランカ、ケニア、ウルグアイ、モーリタニア、タイ、バングラディシュ、ミャンマー）の世界遺産セミナーを開催しました。このセミナーは単にその国の文化遺産や自然遺産を紹介するだけでなく、その背景となっているその国の風土や生活様式を理解することもその国の文化を知る上で非常に大切なことと考え、実際にその文化を担っている海技大学校で学んでいる研修生に、自国の世界遺産と生活様式等について講演してもらいました。講演者達は、世界遺産セミナーを通して芦屋市民の方々と交流できることを非常に大きな喜びとして、夜遅くまで準備を行い多くの話題を提供してくれました。なお、講演は英語あるいは母国語にて行われましたので、ボランティアの方に通訳をお願いしました。昨年の11月に「バングラディシュの世界遺産と生活様式」と「ミャンマーの自然や文化と生活様式」のテーマで開催した世界遺産セミナーの様子を紹介します。



バングラディシュについてはアラムさん（Mr. Mohamed Faridul Alam: Assistant Harbour Master; Chittagong Port Authority）にお願いしました。講演内容は、国の紹介から始まり、独立に至るまでの困難な道のりや生活に関連する話、そして世界遺産であるハゲルハートのモスク都市（15世紀に築かれたイスラム教国の都市遺跡）及びパハールプールの仏教寺院遺跡（インド亜大陸最大の伽藍を持つ僧院の跡地）の文化遺産とシュンドルボン（世界最大のマングローブ林）の自然遺産について多くの写真を用いて説明が行われました。バングラディシュは日本にとってあまり馴染みのない印象の国でしたが、自然遺産の関係でベンガル虎の写真が映し出され、バングラディシュとはベンガルの国という意味が明らかになり、ベンガルあるいはベンガラという言葉なら昔から知っているという参加者からの反応があり、バングラディシュが少し身近な国に感じられるようになりました。講演後の質疑応答においては、11月がイスラム教の宗教行事であるラマダン（断食月）の最中であったため、宗教に関して数多くの質問が行われました。

ミャンマーについてはモーさん（Mr. Myat Moe: Lecturer; Institute of Marine Technology）にお願いしました。ミャンマーは、以前の名前であるビルマあるいはアウン・サン・スーチー女史の民主化運動でご存じの方が多くいます。ミャンマーにはインドネシアのボロブドゥール、カンボジアのアンコール・ワットと並ぶ世界三大仏教遺跡の一つであるバガンの考古地域と建造物群の遺産がありますが、軍事政権のため保存が十分でなく世界遺産に指定されていません。世界遺産にも軍事政権の影響が及んでいるのが現状です。講演の始まる前からミャンマーの音楽が流れ、暖かい雰囲気の中でセミナーが始まり、仏教国であるミャンマーの人々の生活や行事、そしてバガンのパゴダや有名な寺院等についてビデオや写真を用いて説明が行われました。質疑応答においてご年輩の方が鈴木敬司元陸軍大佐の名前を知っているかどうか尋ねられたところ、モーさんは即座に「ビルマ建国の恩人で、ミャンマーの人々はみんな知っている。」と返答しました。ミャンマーの独立に深く日本人が関わっていて、今でも非常に感謝されていることが明らかになり、質問者も非常に感激されておられました。私の知らない歴史の一部をかいま見た気がしました。非常に親日的な国ですが、世界最貧国という非常に厳しい状況で、寺子屋運動で小学校を建てるのにふさわしい国のように思われました。



これらのセミナーを開催することにより、世界遺産が異なった文化を理解する橋渡しの役割を果たし、相互理解の一步を踏み出すことができました。また、我が国では失われつつある宗教の大切さや礼儀正しさを教えられました。また、各国の風土や宗教と文化遺産との関係あるいは自然遺産と環境の問題など、現在の私たちが直面している問題を考える機会にもなりました。今後のユネスコ活動を活発化するためにも、会員の皆様方の積極的な参加をお待ちしております。（池西）



世界遺産見学バスツアーのご案内

今年の春のバス小旅行は京都洛西です。京都の北西部洛西は、元々都の西部で、天皇や貴族の別荘地、隠居地でした。その分、平安京時代の文化遺産が多く残されています。代々の天皇や時の権力者が心の平安を得る緑の土地でした。この狭い洛西には世界遺産が詰まっています。今一度、日本人が創った世界に誇る文化遺産を改めて見直したいと思います。今回訪れる予定の北野天満宮、金閣寺、仁和寺は何れも国の重要文化財であり、ユネスコ世界遺産でもあります。また今回はガイド役を歴史学科大学院生にお願いしています。きっと興味深いお話が伺えると思います。芦屋発、芦屋解散ですので、この機会に気軽に御参加ください。また、会員以外の方の参加も可能ですので、是非お誘い合わせの上奮ってご参加ください。

日 時 : 2004年4月12日(月) 8:00 ~ 17:00 (予定)

場 所 : 集合 — ホテル竹園ロビー

解散 — ホテル竹園近辺

コース : 芦屋 ⇒ 北野天満宮 ⇒ 金閣寺 ⇒ 仁和寺 ⇒ 芦屋

参加費 : 一人 8,000 円 (バス代、拝観料、昼食代、ガイド料、雑費他)

昼 食 : 乞うご期待!

☆参加希望者は、2月末までに別紙申し込み用紙に必要事項ご記入の上、事務局宛て FAX にてお申し込みください。尚、詳細は3月下旬頃までに、担当役員よりご連絡をさせていただきます。

日本ユネスコ運動全国大会のご案内

2003年5月24日(土)、25日(日) 北海道 札幌にて開催

事務局連絡

<会員現況> (1月17日現在)

特別会員 17名 維持会員 40名 普通会員 107名 学生会員 3名

団体会員 1団体

合計会員数 167名+1団体 (他、会費未納者 10名)

<お願い>

◇会員増員の為、会員各人に入会者のご紹介をお願いいたします。

◇AU通信のお手伝いいただける方、ご連絡ください。

<会員の役割>

◇芦屋ユネスコ協会の会員でいてくださることに感謝しております。

会員の役目 (一つ以上、いくつして戴いても結構です)

①会員を毎年**更新**する。(会費がユネスコ活動の原動力になります。)

②会の**催し物に参加**する。(会員同士の親睦や平和的交流も大きな目的です。)

③会の**活動に参加**する。(より積極的にご協力戴ける方)

・寄付金・書き損じ葉書(事務局又は役員にお届けください)

・新入会員勧誘活動(事務局又は役員にお届けください)

④会の**活動に企画・運営**の立場で参加する。

・中心的に参加する。(委員会活動など。事務局又は役員にお申出下さい)

・準備などのお手伝いをする。(活動スタッフなど。事務局又は役員にお申出下さい)

編集後記: AU通信への感想・ご意見をお寄せいただくと嬉しいです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。